

○スクールミッション  
総合型高等学校として、夢と自尊心を持ち、堺伝統を継承させながら、普遍的な知識と汎用的技能を総合的に身に付け、時代の変化に合わせて積極的に社会に参画し、論理的思考力と倫理観を持って新しい社会を創造していく資質を有する人材を育成  
○ 令和7年度 重点目標  
未来を担う子どもたちに必要となる資質・能力を育み、子どもたちの可能性を引き出すために、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく育成する「個別最適な学び」と、子どもたちの多様な個性を最大限に生かす「協働的な学び」の一体的な充実をめざし、授業改善やカリキュラムの改善に向けた取組み、より高い進路目標を達成するように学校組織としての教育力をさらに向上し指導する。

確かな学びの現状 ○本校は「サイエンス」「機械材料」「建築インテリア」「マネジメント」の4つの専門学科があり、各学科の生徒一人ひとりが協働的な学びを通じて、互いに高め合っている。 ○進学においては一般入試の4年生大学合格者数が増えつつあり、特にサイエンス創造科上位の生徒は、大学入試センター試験を受験して国公立大学に挑戦している者もいる。 ○高校卒業時には99%の生徒が進路を決定し、学校紹介による就職希望者においては決定率100%を維持し続けている。	豊かな心・健やかな体の現状 ○社会に出て通用する人材の育成をモットーとし、特に「基本的な生活習慣」「マナー」「身だしなみ」の指導を重視しており、これらについては来校者からも一定の評価を得ている。 ○地域貢献の観点から地元地域、教育委員会等に施設貸出を積極的に行っている。また、地域のイベント等にも生徒会やクラブ員が積極的に参加している。在校生の約70%が堺市立中学校出身であり、今後も堺市立の唯一の高等学校として、地域に密着した学校をめざす。
---	---

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～10月)	達成状況(年度末)			
								自己評価		学校関係者評価	
確かな学び	学力の向上	○希望する進路先を決定し合格できる学力をつける	希望する進路に決定した生徒の割合および分析 一般入試での大学合格者数の増加及び学習のサポート	卒業時、全員が進路決定できることをめざす	キャリア支援部からの報告による評価	年度末					
	国際理解教育	○国際理解を深め、国際感覚を醸成する	海外への訪問をはじめ、諸外国からの訪問受け入れ オンラインによる交流などの国際交流事業を一層充実させる	アンケートの「国際交流が盛んにおこなわれている」において、満足度7割以上	国際交流委員会からの報告により評価	年度末					
	専門性の向上による ブランド力の強化	○高大連携、企業連携、堺市を核とする諸施設・諸団体との連携 ○学校内外において高度な専門知識・技術・技能を習得させる	各大学・研究団体等のコンクールへの積極的な参加 専門性の高い資格取得や検定への挑戦	各種コンクール等における入選 検定合格者・資格取得者数(延べ人数)を増加させる	学科長からの報告による評価	年度末					
	進路実現	○4年制大学指定校推薦枠を確保する ○多くの求人数を確保し就職を希望する生徒の進路を保障する	大学入試センターからの情報収集 指定校推薦枠の増加 企業採用部署との密な連絡 求人数及び内定数による企業分析 生徒・保護者年度末アンケート結果の分析	進路指導に対しての生徒及び保護者の肯定的 評価の割合8割以上(年度末アンケートによる) 就職試験の一次内定率90%以上	キャリア支援部からの報告による評価	年度末					
	授業改善等	○生徒が主体的・対話的な深い学びに向かう授業を探索し、学力の向上を図る ○体育祭等の行事の検討	教員間による授業公開を年2回実施 市立体育館による体育祭の検討	アンケートの授業満足度8割以上	担当者からの報告による評価	年度末					
豊かな心・健やかな体	基本的生活習慣の確立	○教職員が登下校指導や授業開始時などの挨拶を行い、自ら挨拶ができる生徒を育てる ○日常生活ルールを身につけさせる	自ら挨拶ができるよう生徒への啓発 朝読書の定着率、遅刻者数、懲戒件数の改善に向けた検討・分析 生徒・保護者年度末アンケート結果の分析	生徒全員が来校者、教職員に対して自ら挨拶ができる 朝読書全クラス完全実施 遅刻者数1日当たり3名未満 生徒指導に対しての生徒及び保護者の肯定的 評価の割合8割以上(年度末アンケートによる)	学校生活部からの報告による評価	年度末					
	いじめ防止対策 家庭との連携	○いじめの未然防止および組織的対応 ○学年団組織の強化	教育相談体制の強化(SCだけでなく教員も相談の窓口となる) SCとの連携を深め、一人ひとりの生徒の個別ニーズをとらえ、組織的に対応する。 学年主任を中心とした学年団のチーム力を強化 問題事象に対して学年として取り組む体制を構築	年3回実施のいじめアンケートからいじめの事案が出てくることを未然に防ぐ。 保護者アンケートの「保護者と連絡を密にとってくれる」の肯定的評価6割以上。	学校生活部からの報告による評価	年度末					
	教職員の働き方改革への取り組み	○教職員の時間外滞在時間の減少 ○生成AIの活用	ノークラブデーの定着 定時退勤日の習慣化 月平均時間外在场時間の改善	昨年度と比較し、教職員の時間外滞在時間を減少させる。	出退勤システムの数値による評価	年度末					
堺高校の認知度の向上	説明会の開催	○認知度を高めるため、堺高校の魅力を創出し、見える化させる たうえで、積極的に説明会や行事等に参加する。	塾等主催の各種説明会(年4回以上)及び各中学校単位の説明会への参加(年20校以上)	入学者選抜において第一志望だけで4学科とも募集人員を上回る	担当者からの報告による評価	年度末					
			オープンスクール、学校説明会、個別説明会の参加の呼びかけ	中学生のべ参加者数名400名以上 (昨年度458名)	総務部からの報告による評価	年度末					
	ホームページの充実	○本校における授業風景や各学科の特色ある様々な取り組みを発信し知名度を上げる	各教員が授業・行事ごとに記事を作成し頻繁に更新を行う	1日あたりの平均閲覧数300件以上 (昨年度310件)	担当者からの報告による評価	年度末					
	地域連携	○縦につながる教育の実施 ○地域の活動等への参加	幼・保・小・中との連携活動 参加行事(授業参観、体育祭、文化祭への参加など)の機会を設定 地域の各種イベントへの積極的な参加	近隣の子ども園・小学校との交流 堺シティマラソンや仁徳祭をまもり隊等への参加 市内中学校進路説明会への参加などの昨年度実績を上回る	担当者からの報告による評価	年度末					

校長より(年度末)							学校関係者評価者から(年度末)				
-----------	--	--	--	--	--	--	-----------------	--	--	--	--